

事業名: 支援が届かない在留外国人等への人道的支援
 資金分配団体: 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
 実行団体数: 8団体
 実施時期: 2020年3月～2021年3月
 事業対象地域: 全国
 事業対象者: 在留外国人

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処：事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内)	状況の把握方法	想定する対応方法
組織外：感染症のさらなる拡大に伴い、対面による支援が行えなくなる。 組織内：担当職員の感染症罹患やその職場内拡大により、事業執行が困難になる。	組織外：実行団体の事業地並びに経由地における感染症状況の把握ならびにその公的な措置に関する日常的な情報収集。 定期面談等により、事業内容や事業実施回数の変更が必要かを確認する。 組織内：日日的な担当職員の体調の確認。(発熱等)	組織外のリスク： ①感染リスクを低減するための飛沫防止策や衛生管理を徹底する。 ②接触を伴わない支援方法の導入を進める。(オンラインや物資配送等) ③事務量増大にならない範囲で事業計画や予算の変更を行う。 組織内リスク：日常的な検温や人流を避けたテレワークの実施により、感染症予防および事業担当者、関連者間の感染拡大を防ぐ。

II. 見直し後*の事業実施で達成される状態(アウトプット) 及び アウトプット指標(実施・到達状況の目安とする指標)/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
(課題の再設定等を通じ、見直しをした事業目標について記載ください。変更がない指標についてもお手数ですが再度ご記載ください)				

*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後*(*)の事業実施後(1年後)以降に目標とする状態 及び 目安とする指標 (※指標については設定可能であれば、で構いません)

事業実施後(1年後)以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
(課題の再設定等を通じ、見直しをした、1年後以降に目標とする状況、実現したい状況について記載ください。変更がない指標についてもお手数ですが再度ご記載ください)			

*実行団体の事業計画等から見直した結果